

神根運動場周辺整備事業について

1 基本計画策定の経緯

水泳競技において優秀な成績をおさめた選手を多く輩出してきた埼玉県であるが、国内の主要大会などが開催できる公営の屋内50m水泳場がなく、天候に左右されず競技に集中できる水泳場の整備は、水泳競技に関わる方々の悲願であった。

平成29年に埼玉県が整備の検討を表明したことから、古くから水泳に対する熱意が非常に高い本市としては、令和元年12月及び令和2年10月に、県に要望書を提出するなど、積極的な誘致活動を展開した。

令和3年3月、「埼玉県屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備地選定委員会」において、本市神根運動場及び神根公園が屋内50m水泳場の整備最適地に選ばれた。

本市としても、埼玉県の水泳場整備に併せ、川口市立北スポーツセンター及び神根西公民館を含む神根運動場周辺を、子どもから高齢者まで多様な世代が集う新たなスポーツ拠点とすべく、令和5年3月に神根運動場周辺整備基本計画を策定した。

2 計画概要

(1) 現況調査

- ア 整備予定地の概要（資料3・1ページ）
- イ 既存施設の現況（神根運動場及び北スポーツセンター）（資料3・2ページ）
- ウ 神根運動場及び北スポーツセンターの利用状況（資料3・3ページ）
- エ 国等の施策方針及び先進事例研究（資料3・4ページ）
- オ 現状における課題と検討の方向性（資料3・5ページ）

(2) 基本計画

- ア 整備コンセプトの整理（資料3・6ページ）
- イ 整備方針の検討（資料3・7～9ページ）
- ウ 各施設の機能・規模の検討（資料3・10～13ページ）
- エ 配置計画の検討（資料3・14～20ページ）
- オ 事業スケジュールの検討（資料3・21ページ）
- カ 公園整備の実現に向けた検討（資料3・22ページ）
- キ 事業化に向けた課題（資料3・23ページ）

(3) 事業手法の検討

- ア 施設等の供用部分に関する検討（資料3・24ページ）
- イ 事業の評価及び事業手法の決定（資料3・24、25ページ）

3 パブリック・コメントの結果

- (1) 意見募集期間 令和5年2月16日(木)から令和5年3月17日(金)まで
- (2) 意見提出者 8者
- (3) 意見 10件

4 住民説明会の結果

- (1) 開催日 令和5年2月3日(金)
対象者 近隣住民等
参加者 合計9人
- (2) 開催日 令和5年3月6日(月)
対象者 神根地区 35町会・自治会長
参加者 32町会・自治会長
- (3) 開催日 令和5年5月16日(火)、19日(金)、21日(日)
対象者 神根地区 町会・自治会
参加者 合計85人

5 今後のスケジュール

